

自然環境に対する課題

地球環境

地球規模の環境問題
地球の温暖化や異常気象
ツクツクボウシやヒトシジミカ等南方性動物の侵入増加

水環境
新市(合併町村)の環境を保全するしくみ
統一した保全策がない

河川汚染
家庭汚水が側溝に流れ、河川への放流による住環境が悪化
水質の改善が十分進んでいない

森林の保全
森林所有者の無関心・管理放棄
森林の病害虫鳥獣の被害
林業従事者の減少
森の荒廃
間伐材の利用方法がない
林業が成立する仕組みがない

人工物の影響(市街地)
ヒートアイランド現象の顕在化
街路樹の点在は雨水の浸透が阻害される
屋外照明に規制がなく動植物に影響している

野生動植物の保護対策
点在した公園・花壇が多い
身近な自然や生物の多様性の減少
アマガエルやカタツムリなど身近な動物の減少

外来種
外来種の動植物の管理がされていない

希少種の保護保全
希少動植物等の現況が十分把握されていない
相変わらず貴重な自然(動植物)がいつのまにか消失している

環境に対する市民意識
自然についての市民の考え方が高い
自然に対する市民の関心が低い
自然環境保全に対する認識がバラバラである
環境教育に市民の取り組みが広がらない

環境教育
子ども達の環境教育が進まない
環境に関する生涯教育や地域教育の停滞
関心が低い

自然とは何か
手を加えない自然
手を加えた自然
長期的視野に立った環境保全より利便性に流された視点になりがち

課題が発生する原因

意識

関心が希薄
関心はあるが取り組みまで結びつかない
自然という概念に対するギャップがある

地域連携

家族・地域・コミュニティの再構築
地域と個人の関わりの薄さ

課題に対する解決策

企業の取り組み
中小企業でも取り組める仕組み
企業・事業者への教育・指導
大型店にCO2排出量に見合う植樹を義務付ける
事業者の環境に対する取り組みに対する行政の支援

行政の取り組み
コンパクトシティ構想の実施
アイドリング・ストップ講習会の実施
環境問題を最上位の施策とする
環境施策を最重要施策とする

循環型社会への転換
エネルギーの有効活用
エネルギーの有効活用(エコバイオマス)
石油エネルギーに頼らず再生可能なエネルギー(森林バイオマス等)への転換

省エネ
生ごみリサイクル施設や施設の実行
薬剤防除を避け、剪定・落ち葉を堆肥化する

地域
公園愛護会等の市民運動を進める
森林・河川・農地等の自然環境の保全・CO2の吸収

環境活動を広める仕組み
環境パートナーシップの見直し
地域協議会の再評価

地域に対応した環境保全
地域特性がある生物多様化技術の研究と普及
高分解能衛星利用による年変化の監視
地域・地域の自然を把握して、実態に合った施策の展開

意識啓発

市民意識
ご近所自然マップの作成
ライフスタイルの見直し
市民が環境に対する意識を持つ

森林保護に対する関心を高める
森林や緑とふれあう活動の推進

市街地の環境対策
雨水排水を進めるために花壇等に排水路導入
各地の公園・植込み等を結び、緑のトンネルの回廊としてまち全域を公園にする

ヒートアイランド対策
市街地に残された緑地の保全
屋上緑化等を含めた市街地の緑化の推進

水環境の対策
ホタルが棲める河川
農業・化学物質(汚染原因)の使用抑制
台所からの排水による水質汚濁を防止する啓発活動

水質保全
公共下水道の早期整備促進
各戸の水洗化促進

生態系

希少動物保護
国際基準に沿ったRDB(レッドデータブック)の実施
外来動植物を野に放つことの規制をつくる

動植物の適切な管理
飼育主に正しい情報の提供
移入種の禁止

地産地消による森林活用
県産の地産地消のサイクルの確立
木材有価取引システムの開発

行政の支援

教職員への環境教育
学校教育現場での環境教育の充実
教職員の環境学習を進める

様々な環境保全に対する活動の支援
長野市版EcoKids(子どもの環境保全に対する取り組み)
市民の環境に関する活動に対する評価
市民意識向上のための活動に対する評価を行い、意識UP

環境保全の取り組みの発表の場を創出
生き物調査結果の発表の場

情報の提供
TV放送の自由化のように(自由化遅れのリカバー)

自家用車
公共交通機関の整備
マイカー通勤(排気ガス)の抑制

森林保全
実のなる木々に覆われた里山
適切に管理された人工林や自然林が市民の身近な存在としてあり、緑とふれあえる楽しい活動ができる

公共交通の充実(自動車を利用しない)

将来像 将来展望

環境調和都市
産直都市(コンパクトシティ)
緑あふれる景観のまち
緑豊かな都市景観の形成

高い環境意識
市民全員が環境に対する高い意識を持つ都市

いつまでも貴重な自然が残っている都市

住み続けたい都市

人と人が心を通いあえる都市

都市の周りの自然を取り込む

河川
小魚の棲む水路
生物が豊かに生息し景観も美しい川が流れる

森林保全
実のなる木々に覆われた里山
適切に管理された人工林や自然林が市民の身近な存在としてあり、緑とふれあえる楽しい活動ができる

公共交通の充実(自動車を利用しない)

自然環境に対する課題

課題が発生する原因

課題に対する解決策

将来像 将来展望

地球環境

地球規模の環境問題

- 皮膚がんや白内障等の免疫機能低下
- 砂漠化の進展
- 永久凍土や氷原の侵食
- 動植物の育成不全
- 海面の上昇

- 海岸の浸食
- 森林(植物)の衰退
- 土壌汚染
- 化石燃料がなければ生活できない
- 化石燃料の消費に無頓着

公害

- 大気汚染・水質汚染・騒音・悪臭などの環境汚染
- 自動車交通公害の対策

意識

環境に対する意識

- 個人の環境に対する意識が低い

住環境と自然

- 風と光が生かされていない
- 有害物質を含む建材

ごみ問題

家庭

- 山中に家庭ごみの放置が多い
- 家庭ごみが減っていない
- 生ごみが資源化されていない
- まだ使えるものが捨てられている

企業

- 分別が完全に行われていない
- 過剰包装

適正なごみ処理(焼却)

- 田畑・原野に廃車が目立つ
- 朝夕に近所からごみを燃やす臭いがしてくる
- 路上にコンビニ袋や吸殻、空き缶が目立つ

生態系

生態系の保全

- 生物の減少・絶滅
- 里山の未整備
- 保護すべき自然がある
- 外来動植物の侵入

希少動物

- 鳥獣被害が多い
- 熊・猿・狸が里山に下りて来ている
- 希少動物の減少

山林整備

- 森の木材が活用されていない
- 山林の伐採木が放置されている
- 森林が手入れされていない

農地

- 藁や草がごみになっている
- 農地が不健全

水

水環境

- 水質悪化が一部ある
- 河川流量の減少
- 水生生物が少ない
- 水循環の不健全
- 市街地の川は暗渠
- 地表水と地下水の不連続性

- 市街地の川の流が速い
- 湧き水の枯渇
- 親水型の桜づつみ
- 水質汚濁
- 川との共生
- 人との関わりが薄い

緑化

まちなかの緑化 ヒートアイランドの緩和

- 特色ある公園が少ない
- 都市型公園ばかり
- 市街地に緑が少ない
- 街路樹が少ない
- 都市の緑が利用されていない

意識

人間の意識が変化

- お金で解決しようとする
- 価値観や意識が変化
- 便利さの追求
- 時間の効率化
- 知識の不足

社会背景

社会環境の変化

- 急激な経済成長
- 経済優先
- 工業化
- 経済問題
- 都市の人口増加
- 高齢化

温暖化抑制

新エネルギー 省エネルギー

- 風力発電の設置
- 工場等の排気ガスの抑制
- 二酸化炭素・メタン・酸化窒素・フロン抑制
- ディーゼルエンジンの使用抑制

- 軽油使用の抑制
- 化石燃料から風力や太陽等の自然エネルギーへの転換
- グリーンエネルギーの活用
- 太陽光発電への補助
- 冷蔵庫やエアコン等を購入する際に消費者が注意する

CO2排出への対応

- 情報提供
- 省エネルギーの調査・研究
- 廃ガスの抑制
- フロンガスの抑制

意識

情報発信 意識改革

- 市民意識の変革
- 環境スローガンを定める
- 水辺の環境学習プログラム
- ムヤンママのための環境学習
- ごみ減量方法 知恵の情報発信
- 市民のエネルギー消費量を抑える
- 市民のライフスタイルの見直し
- 広報や有線でごみ焼却を止めるように呼びかける

制度

- 長野市モデルの家づくり支援
- 省エネモデル施設の表彰

計画の見直し

- ゾーニングして将来イメージを地域共有していく
- エリアごとの課題を明確にする

協働の取り組み

- 老人クラブの機能を充実させる

ごみ問題

- ごみの減量化
- 廃車の適正廃棄
- 分別の細分化
- リサイクル 不燃物回収の改善

ごみ処理制度

- 不燃物の細分化
- 不燃物ステーション
- 可燃物の有料化
- 可燃物の資源化
- 行政による生ごみバイオマス堆肥化

- 小規模事業者のごみ有料化導入
- ムダ製品の取り除き
- ごみ焼却熱を利用したリサイクル発電
- 不法投棄の通告制
- 地区ごとの行政懇談会の実施

生態系

生態系の維持方法

- 自然保護区域の新設
- 小さな池や藪を造る
- 外来種の適正量駆除
- ピオトープネットワークの構築
- 昔の川辺を柳などで維持していく

木の活用

- 林業の活性化
- バイオマスの利用
- 地域の自然資源の活用
- 二次林の整備
- 地元産の材木の使用拡大
- 山林・森林について勉強し、動物のエサになる実を増やす

水辺環境

水環境の対策

- 生活排水対策の充実
- 水辺環境の自然化
- 水循環計画の策定
- 暗渠をなくす
- 河川のコンクリート化を自然の姿に
- 水辺の保護
- 河川・水路の見直し
- 水辺の保護
- 河川緑化地の利用促進と保護

緑化(公園整備(ハードソフト))

- 特色ある公園
- 少子高齢社会型公園
- 垣根の維持に対する補助
- 公園利用促進のための交通対策
- 剪定方法を見直して大きな木を育てる

農業対策

- 棚田の復活
- 休耕田の有効活用
- 農業の活性化
- 地産地消

豊かな自然環境が保全された社会

- 地球温暖化の抑制
- 省エネ・エコライフの実現
- 温暖化防止

循環型社会

- ヒートアイランド現象の緩和
- 自然エネルギーへの転換
- ごみが減る
- 行政の処理するごみが半減
- 快適な生活
- 将来の目標値を出し 対策を立てる

個々人が環境意識を持つ

- 学校での環境学習の充実
- 多くの市民が環境活動に取り組む(ネットワーク)

協働で自然環境を造る

- 地域の取り組みとして計画が進められる

癒しの自然が豊かな社会

豊かな生態系

- 生物の多様性が確保
- 熊や狸が出てこない
- 森林が整備され二酸化炭素吸収量が増える
- 森林資源が適切に利活用される
- 農地が再生される

潤い豊かな社会

- 水量豊かな河川の復活
- 水辺生物の復活
- 川辺の生態系を守り 楽しむプログラムがあり 人の関わりがある

緑豊かな社会

- 心の豊かな生活が送れる
- まちなかに生物が棲める
- 安らぎの空間がある
- 緑・木陰 水辺が気温を低下させる

循環型社会に対する課題

課題が発生する原因

課題に対する解決策

将来像 将来展望

省エネ 新エネルギーの活用推進

- 石油エネルギーの一極集中
- 化石燃料使用によるCO2の増加
- 自家用車の市内への流入が多い
- 石油エネルギーへの一極化

自然エネルギーが使われていない

- 自然エネルギーが使われていない
- 新エネ 省エネが進んでいない
- 風力 木質バイオマス 太陽エネルギー等の循環型エネルギーの利用が進んでいない

環境教育

- 市民の取組が広がらない
- 市民の環境意識が高まらない

環境負荷の低減

- 地球環境への負荷の低減

環境を大切にしない意識 文化 システムがない

- 経済優先
- 利便性優先
- 大量生産 大量消費
- 文化意識が低い
- 間違ったケチ

環境教育

- 長野市版エコキッズ
- フットプリントを考えた食生活
- 市民意識の向上
- 小学校入学時から環境教育 公民館
- 全世代一緒に環境教育できる仕組み

地域での環境の取り組み

- 高齢化への対応 地域コミュニティの形成
- 環境美化活動への参加
- 自治会を見直したコミュニティの活性化

市民意識の向上

- 消費者がコスト優先の消費行動を改める
- 良いものを長く使い続ける生活習慣を身につける
- けち 節約のすすめ (もらう 捨てるのすすめ)
- すくを出す
- 何か必要なときは他人にあるか聞いてみる
- 過剰に流行を追いかけて利便性を求めない習慣を身につける

企業の環境に対する取り組みへの支援

- 省エネに対応できる企業を応援できる仕組み 支援
- 環境会計による企業への助成や支援
- ESCO事業や環境会計の省エネ対策
- 中小零細企業を応援できる仕組み (エコサークル) や受皿の整備

企業の協力

- 企業も寿命の長い製品を作る
- 環境経営システムの普及
- 長く使える製品
- 環境経営を進められるシステム

コスト優先からの意識転換

- コスト 利便性を優先せず、新エネに転換していく

環境保全の優先

- 全ての市民が環境優先で考えられる社会

環境先進都市

- 環境ビジネス先進都市
- 環境が良いことから観光客の増加に結びつくまち

自然の豊かな都市

- コミュニティの復権
- まちを汚さない
- ごみにしない姿勢

ごみ問題

ごみに対する市民意識

- ごみの排出者の責任を問う事が多い
- 無責任化 公民館に無記名
- ごみ不法投棄がなくなる

ごみの削減

- 食品包装の半分はプラごみ
- 生ごみの減量化が進んでいない
- 生ごみの減量がまだまだ
- 贈答品等の過剰包装
- 生活用品が使い捨てを前提に製造されている 長く使えない
- 買い物袋がレジで無料提供

リデュース

- 再利用が進んでいない
- 公園の落ち葉が可燃ごみの袋に入っている

リユース

- 生ごみリサイクルが進まない
- 生ごみが減らない
- 容器包装のリサイクルは進んだ

リサイクル

- 生ごみリサイクルが進まない
- 生ごみが減らない
- 容器包装のリサイクルは進んだ

ごみの分別収集

- ごみ分別の徹底
- ごみ分別により可燃ごみ減った
- ごみの分別収集は確立・徹底されているか
- 高齢化社会でこれ以上の分別は無理

ごみの処理施設

- 処理施設の建設ができない

簡単にごみ処理ができない

- 草 木 落ち葉を焼却することが難しくなっている

ごみの削減が進まない

- 具体的な目標がわからない
- ごみを削減しても具体的なものが見えない

ごみ処理のプロセスがわからない

- ごみがどう処理されているかわからない

ごみ処理に対する情報提供

- ごみ処理のPRが足りない

環境教育の優先度が低い

- 子どもに環境教育している時間がない

エネルギーの循環

- 雨水の利用
- 節約に心がける
- 新エネの地産地消費
- グリーンエネルギーや未利用エネルギー施設の導入
- 太陽光発電やバイオマス発電の新エネ対策

ごみ再利用

- ごみの再利用に関する地域活動の支援
- 生ごみの堆肥化
- 化学肥料から有機肥料への転換
- 学校給食の残飯を堆肥化する技術の確立
- 飲食店の生ごみ堆肥化の支援

ごみの再利用に対する地域活動の支援

- 資源回収の副増金を復活して活動と連携させる

ごみの有料化

- 小規模事業者のごみ有料化 有料化と記名

リユース

- リターナルビンの普及
- タンスや大型家具はダンボール素材で
- フリーマーケットの普及
- リサイクルから一歩踏み込んだリユースを行う消費者の意識の向上

ごみが出ない仕組みづくり

- 生分解性プラなどをもっと使用し、グリーン調達制度

人の顔が見えるまち

- 思いやりのある都市
- 買い物上手になる

環境学習都市

- 環境学習

循環型社会

- 山が整備され、CO2の吸収量が増加
- 地域内循環ができています
- 社会
- 節約型の生活様式の定着
- 地域の中で健全な循環良好な環境

資源の循環

水の循環

- 千曲川や犀川で泳げない (なかなか大小河川がきれいにならない)

自然環境との共生

- 生き物の循環が上手くできていない

農林業の活用

- 農業 林業の荒廃
- 市内の森林資源が活用されていない
- 市の食糧自給率が低い

大気循環

- 見えない大気汚染が進行しているだろう (有害物質の大気への放出)

環境教育の優先度が低い

- 子どもに環境教育している時間がない

ごみの削減

- 簡易包装 (ノーBOX・ノー包装紙)
- 食堂・レストランでの食事量のSM L化

水循環

- 汚水が直接川へ
- 雨水の浸透

生物の生活環境保全

- 生態系を守る環境の保全
- 生き物が循環するエコデザイン

地産地消

- 産直の推進
- 地産地消の推進
- 市民と森と材の加工をつなぐプログラム

新エネルギー

- 石油製品に頼らずに暮らせる社会

スマートタウン

- 町内に商店街のあるまち

生活環境と暮らしに対する課題

課題が発生する原因

課題に対する解決策

将来像 将来展望

景観

長野らしさが希薄
歴史や風土との調和が不足
歴史的な街並みがない
道路や建物等に段差があり不便
街に香りや雰囲気がない
周りの山や自然との調和が図られていない
都市景観への配慮が必要

安全面から見る水質
雨水の地下浸透がない
農業等による水質汚濁
湖沼の水質汚濁
河川の水質汚濁の進行
河川の水質悪化による病原性原虫の発生
生活排水が汚れたまま河川に流れ込む

下水道
下水処理の副産物の処理
公共下水道に接続しない割合が高い

おいしい安全な水道
水がおいしくない
水道水源の割合の問題

土壌
都市の緑地帯の土が死んでいる
土壌が死んでいる

水の循環社会

環境との調和

河川の創造
市街地に水辺がない
市街地に親しめる川が少ない
小川が農業用水路のみとなっている

小水路が三面コンクリートで無味
湧き水の枯渇
河川の流量の減少
河川が自然の形でない
北 南八幡川に魚がいない

緑化

公園
市街地に木が少ない
コンクリートブロックの壁が多い
駐車場の緑化問題
条例との関連
まちなかの公園が少ない

都市内の緑が少ない
中核部(都市部)の緑が少ない
市街地に公園が不足
運動公園が適正に管理されていない
街路樹の剪定
公園利用促進のための機能強化

里山と農地の整備

森林の荒廃
合併により森林面積増加
農地や森林の減少
入山禁止の山林が増加

道路

歩いて楽しい道路が少ない
高齢者にとって使いやすい道路や公共施設
住宅団地内のバリアフリー化

不法投棄
産業廃棄物の不法投棄
自転車の乗り捨て
家庭ごみの不法投棄

制度 法等
現状に合わない制度

住環境

都市基盤 住環境
昭和30年代に整備した団地の衰退
住環境に対する意識不足
魅力ある住環境に対する意識不足

人口減少社会の到来
中心部の人口減少
団地内の人口減少
空家の増加
郊外での住宅建設が進行している
スプロール化が進んでいる

生活意識の変化
生活環境の変化
価値観の変化
経済性 効率性を優先

計画性の欠如

ハード優先のまちづくり
将来の展望がない
土地利用計画がずさん
開発のバランス
宅地開発の下水の建設が追いつかなかった

具体的な長野らしさがわからない

都市景観に関する意識

画一化
他市の模倣

河川の水路化

舗装化
経済性の優先
自動車優先の社会

農業従事者の高齢化

山間地の開発
林業の衰退

市民の意識の希薄化
モラルの低下
ごみを出しにくい環境

現状に合わない制度

核家族化の進行

制度等
景観法による景観計画の策定
景観法の導入
伝統的建造物の修景
善光寺周辺の整備
歴史的街並み保全のための補助

長野市タイプの公園や山
市民が自由に入れる山
里山の自然の保全
借地公園

公園利用の改革
庭園の建造
特色ある公園づくり
各地区の公園や植込みを街路樹で結び緑のトンネルや回廊として、まち全体を公園化し、周辺の自然との融合を図る

潤い

潤い空間づくり
市街地に小川を再生
自然河川への回帰
雨水の取り込み
親水性空間の創造
道路舗装を透水性に
雨水排水を花壇等へ導く

緑地帯の整備
市民参加型の街路樹や公園
ミニパークの設置
駐車場の緑化の促進

宅地の緑化
民有地の緑化の推進
新築住宅の緑化
垣根の維持管理への補助

中心市街地に公園を整備
住区ごとの特選樹木による並木道を作る
公園 街路樹の管理団体への補助
再開発事業等での緑化の義務化
公園利用促進のためのネットワーク
都市公園の整備促進

水環境

浄化槽の設置
上下水道の普及促進
下水道水洗化を促進
下水道の建設目標値の設定
無登録農業等の製造 輸入禁止

水路に鯉などを放流
浚渫工事の実施
工場などからの排水基準の引き上げ
小さな水路を可能なかぎり
三面コンクリートを廃止

道路整備

小道や小路の再整備

制度等

不法投棄専用の窓口
罰則の強化
環境監視パトロール強化
ごみ収集方法の改善
地域美化清掃の強化
ごみの回収に関わる制度改革

不法投棄

4R意識の醸成
再資源化の徹底
分別収集の徹底
ごみゼロ運動のさらなる推進(市民の自覚)

住環境

時代に対応した住環境
ユニバーサルデザインの推進
コンパクトな都市への転換
空家の有効活用

地域コミュニティの再構築
将来人口に見合った環境の見直し
他の化学物質の使用規制
住まい方や暮らし方の意識の高揚

省エネ 新エネ

CO2対策モデル施設の表彰
緑化とCO2に関する情報の提供
エコエネルギーの住環境への導入

長野らしい歴史景観のある街並み
美しい都市景観による観光への波及
観光への貢献
歴史や文化が活かされたまち
伝統的文化的の尊重

市民の意識
自然と調和のとれたまち
自然保護への関心
自然環境と調和した都市づくり

安全できれいな水のまち

おいしい飲料水が飲める
水生生物の棲むまち
多自然型河川づくり
水路に対する住民意識
小動物の再生
小川の大切さを子どもたちに伝承

水循環の仕組みづくりと個人個人の取組

水と緑の潤いある香りがわしいまち

官民一体、市民ぐるみでの都市緑化の推進
山林管理の文化の伝承
緑化の統合(点 線、公園 広域)
都市のシンボルツリーの育成

循環によるごみの少ないまち

環境との調和
資源の循環
ごみの少ないまち
資源循環型社会
省エネ社会の実現

誰でも住みやすい、やさしいまち

高齢者が安心して住めるまち
地域でのコミュニケーション力が向上 確保されたまち
コンパクトな都市
豊かな住空間と化学物質による健康被害の撲滅